

令和５年度ダイオキシン類調査(公共用水域(水質・底質)、地下水)業務委託仕様書

1 目的

この仕様書は、令和５年度ダイオキシン類調査（公共用水域（水質・底質）、地下水）業務委託の適正な実施に必要な事項を定める。

2 委託期間

契約締結の日から令和６年２月２３日(金)までとする。

3 委託業務の内容

委託業務の内容は、試料採取業務及び分析業務とする。

4 試料採取業務及び分析業務の方法

試料採取業務及び分析業務は、下記に示す方法により行う。

(1) 公共用水域（水質・底質）

ア ダイオキシン類による大気汚染、水質汚濁（水底の底質汚染を含む。）及び土壌汚染に係る環境基準について（平成１１年１２月２７日環境庁告示第６８号）

イ ダイオキシン類対策特別措置法の施行について（通知）（平成１２年１月１２日環企第１１号、環保安第６号、環大企第１１号、環大規第５号、環水企第１４号、環水管第１号、環水規第５号、環水土第７号（以下「施行通知」という。）第３の２（２）イ（イ））

ウ ダイオキシン類対策特別措置法に基づく底質環境基準の施行について（通知）（平成１４年７月１２日環水企第１１７号、環水管第１７０号第３の２）

エ ダイオキシン類に係る底質調査測定マニュアル（令和４年３月環境省水・大気環境局水環境課）

オ 水質汚濁に係る環境基準について（昭和４６年１２月２８日環境庁告示第５９号）

(2) 地下水

ア ダイオキシン類による大気汚染、水質汚濁（水底の底質汚染を含む。）及び土壌汚染に係る環境基準について（平成１１年１２月２７日環境庁告示第６８号）

イ 施行通知（第３の２（２）イ（イ））

ウ 水質汚濁に係る環境基準について（昭和４６年１２月２８日環境庁告示第５９号）

5 調査内容

(1) 公共用水域(水質・底質)

ア 調査地点

別紙１の表１のとおり。（河川１６地点、湖沼１地点、海域１地点、計３６検体）

イ 調査回数及び調査時期

1 回／年（8～10 月）

ウ 調査項目

（ア） 水質

ダイオキシン類、pH、濁度、EC、SS、水温、採取水の外観（色相、濁り、透視度又は透明度、臭気）、流量、天候、その他採取時の状況

（イ） 底質

ダイオキシン類、採取底質の外観、温度、色相、臭気、夾雑物の状況、水分含量、強熱減量、その他採取時の状況

エ その他

（ア） 水質及び底質の採取は、同一地点を同一日に行う。

（イ） 試料採取にあたり、自然公園法、文化財保護法、福島県立自然公園条例その他の法令又は条例に基づく許可等が必要な場合は、所要の事務手続きは県地方振興局が行う。

(2) 地下水

ア 調査地点

別紙 1 の表 2 のとおり。（6 地点、計 6 検体）

なお、具体的な調査地点については、契約締結後に通知する。

イ 調査回数及び調査時期

1 回／年（9 月）

ウ 調査項目

ダイオキシン類、pH、EC、SS、水温、採取水の外観（色相、濁り、透視度、臭気）、天候、その他採取時の状況

なお、pH 及び EC は、採水時にも測定する。

(3) その他

ア 分析に係る精度管理は、上記に示した環境省のマニュアル、ダイオキシン類の環境測定に係る精度管理指針(平成 12 年 11 月 14 日環境省)及び JIS 規格により行う。

イ 試料採取から分析に係る一連の作業は全て業務受託者が行い、また、調査に必要な消耗品、機材等は全て業務受託者が準備する。

ウ 業務受託者は調査日程を、管轄の県地方振興局と協議の上決定する。

業務受託者は決定した日程について、速やかに水・大気環境課に報告する。

なお、調査日程について、天候等何らかの都合により変更する場合は、業務受託者と管轄の県地方振興局が協議の上決定する。

エ 船舶の借上料は、業務受託者が負担する。

6 精度管理

(1) 内部精度管理の実行

精度管理について、ダイオキシン類の環境測定に係る精度管理指針（平成 12 年 11 月 14 日環境庁、以下「指針」という。）、上記に示した環境省のマニュアル及び JIS 規格に規定されている事項又はこれに準ずる内容を遵守する旨、実施計画書に明記すること。

(2) 精度管理計画書

指針第 1 部第 3 章の品質保証・品質管理計画書又はこれに準じる計画書を作成すること。

(3) 二重測定

公共用水域において水質及び底質の各 1 検体、地下水において 1 検体の二重測定を実施すること。なお、二重測定の実施地点、時期等は別途協議する。

(4) 試料の保管及び処分方法

試料の保管及び処分方法については、ダイオキシン類に係る底質調査測定マニュアル（令和 4 年 3 月環境省水・大気環境局水環境課）の定めに従うこと。

7 実施計画書等の提出

業務受託者は契約締結後、速やかに本委託業務の実施計画書及び 6 (2) に定める精度管理計画書をそれぞれ 1 部提出すること。

8 報告

業務受託者は、以下に示す方法により調査結果を水・大気環境課に報告する。

ただし、環境基準を超過した場合や異常値が検出された場合は、速やかにその結果を水・大気環境課に報告する。

(1) 調査結果の報告方法

調査結果の報告は、上記 4 に示した環境省のマニュアル等に応じた方法により行う。

また、試料採取地点の世界測地系の緯度・経度情報を取得し報告書にその旨記載するとともに、試料採取状況及び検体の写真を撮影し、その記録を報告書に添付する。

(2) 提出物

提出物は以下のとおりとする。

ア 報告書（印刷製本したもの） 1 部

イ 磁気ディスク 1 式

（ア） 調査結果報告書の電子ファイル

（イ） 県が指定する調査結果報告様式ファイル

（ウ） 県がダイオキシン類の調査結果を取りまとめるにあたり、集計等することが出来るように Excel に記録したファイル

（エ） 異性体の組成比を Excel によりグラフ化したファイル

（オ） 環境省報告様式に入力したファイル（※地点固有番号の入力は、別紙 2 の

地点固有番号の付与及び入力の方法により行う。)

(カ) 指針第1部第3章2の品質保証・品質管理結果報告書又はこれに準ずる精度
管理報告書の電子ファイル

9 その他

- (1) 業務受託者は、県が底質のクロスチェック調査を行う場合、これに協力する。
- (2) 業務受託者は、県が実施する業務受託者の事業所の立入調査及び委託業務の実施状況等の調査に協力するものとする。
- (3) この仕様書に定めるもののほか、委託業務について必要な事項は県と業務受託者が協議して定める。

(別紙1)

表1 公共用水域(水質・底質)

(1) 河川

番号	地域名	調査地点名	調査時期
1	五百川	阿武隈川合流前	8～10月(8～10月)
2	東根川	阿武隈川合流前	8～10月(8～10月)
3	釈迦堂川	須賀川市水道取水地点	8～10月(8～10月)
4	社川	王子橋	8～10月(8～10月)
5	夏井川	北ノ内橋	8～10月(8～10月)
6	阿武隈川	羽太橋	8～10月(8～10月)
7	黒川	栃木県境	8～10月(8～10月)
8	久慈川	高地原橋	8～10月(8～10月)
9	阿賀野川	新郷ダム	8～10月(8～10月)
10	只見川	藤橋	8～10月(8～10月)
11	旧宮川	丈助橋	8～10月(8～10月)
12	濁川	山崎橋	8～10月(8～10月)
13	阿賀野川	田島橋	8～10月(8～10月)
14	伊南川	黒沢橋	8～10月(8～10月)
15	小高川	ハツカラ橋	8～10月(8～10月)
16	浅見川	坊田橋	8～10月(8～10月)
計	15 河川	16 地点	32 検体(水質・底質)

(注) ()内は底質の調査時期を示す。

(2) 湖沼

番号	地域名	調査地点名	調査時期
1	磐梯五色沼湖沼群	毘沙門沼湖心	8～10月(8～10月)
計	1 湖沼	1 地点	2 検体(水質・底質)

(注) ()内は底質の調査時期を示す。

(3) 海域

番号	地域名	調査地点名	調査時期
1	相双地区地先海域	請戸川沖約2,000m付近	8～10月(8～10月)
計	1 海域	1 地点	2 検体(水質・底質)

(注) ()内は底質の調査時期を示す。

表 2 地下水

番号	地域名	市町村名	調査地点数	調査時期
1	県 北	本宮市	1	9 月
2	県 中	田村市	1	9 月
3	県 南	矢吹町	1	9 月
4	会 津	西会津町	1	9 月
5	南会津	桧枝岐村	1	9 月
6	相 双	川内村	1	9 月
計	6 地域	6 市町村	6 地点	6 検体

(別紙2)

地点固有番号の付与及び入力の方法

1 公共用水域（水質・底質）

下表の調査地点ごとに付与された地点固有番号を入力すること。

(1) 河川

番号	地域名	調査地点名	地点固有番号
1	五百川	阿武隈川合流前	0703101
2	東根川	阿武隈川合流前	0721401
3	釈迦堂川	須賀川市水道取水地点	0702501
4	社川	王子橋	0700401
5	夏井川	北ノ内橋	0701701
6	阿武隈川	羽太橋	0700101
7	黒川	栃木県境	0702201
8	久慈川	高地原橋	0702302
9	阿賀野川	新郷ダム	0700701
10	只見川	藤橋	0701302
11	旧宮川	丈助橋	0705201
12	濁川	山崎橋	0705401
13	阿賀野川	田島橋	0700501
14	伊南川	黒沢橋	0701402
15	小高川	ハツカラ橋	0704702
16	浅見川	坊田橋	0704801
計	15 河川	16 地点	32 検体 (水質・底質)

(2) 湖沼

番号	地域名	調査地点名	地点固有番号
1	磐梯五色沼湖沼群	毘沙門沼湖心	0750701
計	1 湖沼	1 地点	2 検体(水質・底質)

(3) 海域

番号	地域名	調査地点名	地点固有番号
1	相双地区地先海域	請戸川沖約 2,000m 付近	0761103
計	1 海域	1 地点	2 検体(水質・底質)

2 地下水

地下水の地点固有番号は、次の要素からなる。

測定地点登録時の都道府県コード（2桁）＋市区町村コード（3桁）＋地区番号（4桁）
＋井戸番号（6桁） 計15桁

なお、各要素の詳細は下記のとおりである。

(1) 測定地点登録時の都道府県コード

「07」と入力すること。

(2) 市区町村コード

総務省「統計のための標準地域コード（URL は下記のとおり。）」を用いて、毎年度末現在のものを入力すること。

URL : <http://www.stat.go.jp/index/seido/pdf/9-5a.pdf>

(3) 地区番号

当該地区の郵便番号下4桁を入力すること。

(4) 井戸番号

上4桁に調査年度の西暦（4桁）を、次に01（2桁）を入力すること。例：201501

なお、調査地点が同一地区番号に複数ある場合は、下2桁は重複しないように、連番（02～99）を入力すること。